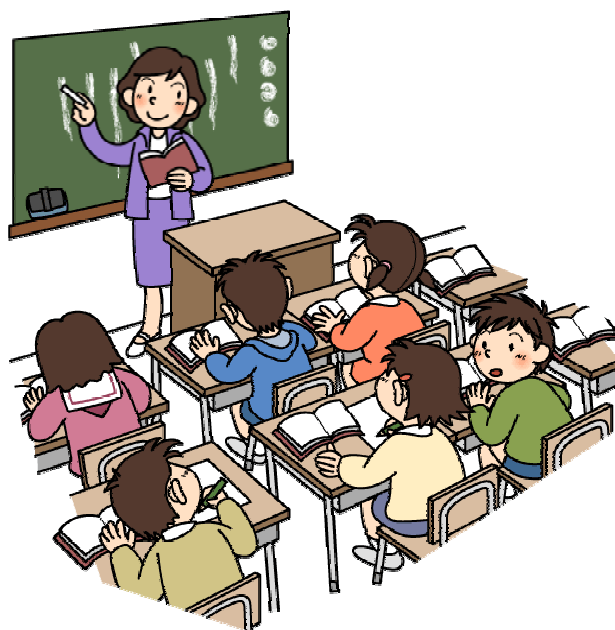


実践 1・実践 2 指導案



① 実践 1

算数科学習指導案（5年）

| | | | | |
|--------------------------------------|--|---|-------------------|--------------------------------|
| 対 象 | 研究協力校 小学校第5学年 | | | |
| 実施期間 | 平成26年6月下旬～7月上旬 9時間 | | 授業者 | 〇〇 〇〇 |
| 単 元 名 | 合同な図形 形も大きさも同じ図形を調べよう (算数5 東京書籍) | | | |
| 単元の目標 | 図形の合同の意味や合同な図形の性質などを理解し、合同な図形をかくことを通して、図形についての理解を深めることができるようにする。 | | | |
| 評価 規 準 | 関 | 合同という観点で、図形の性質を見直したり対角線に着目してできる図形を捉えたりして、学習に生かそうとする。 | | |
| | 考 | 合同の観点から図形の図形の形や大きさを決める要素について考え、図形の性質としてまとめたり統合的に捉えたりすることができる。 | | |
| | 技 | 必要な対応する辺の長さや角の大きさを用いて、合同な図形を弁別したりかいたりできる。 | | |
| | 知 | 図形の合同の意味や合同な図形の性質について理解する。 | | |
| 過程 | 時間 | 伸ばしたい資質・能力 | | 主な学習活動 |
| | | 生徒指導の三機能を生かした主な手立て | 思考力・表現力、活用させたい知識等 | |
| 課題 把握 課題 追究 ま と め | 1 | 教材・教具の提示の工夫 | 合同な図形の弁別 | 形や大きさが同じ図形を見つける。 |
| | 2 | 発問の工夫 | 「合同」の意味 | |
| | 3 | ペア・グループ学習 自分の考えを発表する | 合同な図形の性質 | 合同な図形の重なり合う頂点、辺、角について調べる。 |
| | 4 | ペア・グループ学習 自分の考えを発表する | 「対応する」の意味 | 対角線で分けたとき二つの合同な三角形ができる四角形を調べる。 |
| | 5 | 自分の考えを発表する | 必要な条件から合同な三角形をかく力 | 合同な三角形をかく。 |
| | 本時 6 | 振り返り 一人学びの設定 | 合同な四角形をかく力 | 合同な平行四辺形のかき方を考える。 |
| | 7 | 自分の考えを発表する | | |
| | 8 | 一人学びの設定 | 活用問題を解決する力 | 「ちからをつける問題」「しあげの問題」単元テスト |
| 9 | 個に応じた指導 | | | |

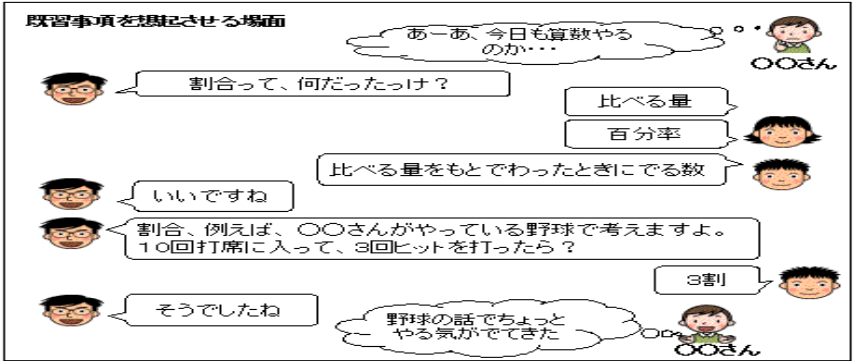
| | | |
|--|--|---|
| 本時の展開（5／9） | | |
| ねらい | 合同な三角形をかくとき、頂点Dを決定するのにすべての構成要素の中で三つの条件が必要なことを理解する。 | |
| 準 備 | ワークシート、発表用紙 | |
| 学習活動（時間） 予想される児童の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 |
| 1 学習課題を把握する。 ○右図の三角形の辺や角度について確認する。（5分） | <div style="text-align: center;"> </div> | ・合同な図形の対応する辺の長さや角の大きさが等しいことはよく理解していた。 |
| 【めあて】 合同な三角形をかくために、少ない条件で頂点Dを見つけ方を考え、説明しよう。 | | |
| ○予想をする。（7分） 合同な三角形をかくには、どこからかいていくか話し合う。 ・残りの二つの辺がかければいいのかな ・角Eとか角Fとか使うのかな ・辺も角も全部使うのかな | <ul style="list-style-type: none"> 分かっている条件を全体で確認する。三角形のかき方の予想がしやすいように、角と辺の数ら全部で六つの情報があることを押さえる。 合同な図形では、対応する辺の長さや角の大きさは等しいという既習事項を確認する。 最初に辺EFをひくことで、三角形DEFをかき始められることを確認する。 最低いくつの条件でかけそうか見通しを持たせ、自分の予想を明確にするため、予想した数のところにネームカードを貼るよう指示する。 <div style="text-align: center;"> </div> <p>ネームカードを貼って意思表示をする様子 【自己決定 C9 自分の考えを発表する】</p> | ・児童は黒板の前に出てきて、すぐに数字のところに自分のネームカードを貼っていた。このことから、児童は自分の考えを決定して、意思表示をすることができた。 |


| | | |
|---|--|---|
| <p>2 個別に課題を追究する。(5分)</p> <p>○六つの情報のうち必要な情報を選択し、三角形ABCと合同な三角形DEFをかく。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 条件を全部使ってかくのではなく、少ない条件で作図するよう助言する。 説明しやすくなるように、辺EFを①としてはかった辺やはかった角の順番を書かせておく。 机間指導し、説明を書く人と発表する人を決める。 | <ul style="list-style-type: none"> 4通りのやり方が出たので、発表用紙に書いてもらった。児童は自信を持って紙に書いていた。 |
| <p>3 考えを発表し、全体で比較・検討する。(10分)</p> <p>○ワークシートにかいたものを発表する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 6、5、4、…といくつかの情報でかけたか順に提示することで、児童の思考の過程をたどっているようにする。 なぜその辺や角を使ったのかを記号を用いながら理由を説明させるようにする。 使った辺や角の数を仲間分けしながら最低三つの情報(辺や角)があれば頂点Dが見つかることをまとめる。 <div data-bbox="794 392 1141 555" data-label="Image"> </div> <p>発表された方法や考え方を読み取らせ、他の児童が説明している様子</p> <p>【自己決定 C9 自分の考えを発表する】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 発表者は、発表用紙を見て、書かれた番号の順番に発表することができた。多くの児童を活躍させることができた。 聞いている児童は、「そう考えたんだ」「なるほど」と言って発表者の考えをよく聞いて自分の考えと比較していた。 |
| <p>4 新しく学んだことをまとめる。(3分)</p> | <p>【まとめ】 最低三つの条件で頂点Dを見つけると、合同な三角形がかけると。</p> | |
| <p>5 習得問題に取り組む。(5分)</p> <p>○1の図形で辺DEをひいて、合同な三角形をかく。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 辺DEをもとに三つの条件を使って合同な三角形をかく。 ◎どの条件を使うか迷う児童もいると考えられるので、ペアやグループで相談するよう助言する。 終わった人は、自分のかき方をペアの人に説明する。 <div data-bbox="821 1093 1145 1243" data-label="Image"> </div> <p>ペアで自分の考えを伝え合う様子</p> <p>【自己決定 C8 ペア・グループ学習】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1で取り組んだように行えばよいことを伝えている児童がいた。 かく手順として番号をつけておくことで、自分のかいた三角形の説明をスムーズに行うことができた。 |
| <p>6 本時を振り返り、次時の学習内容を知る。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 三つの条件で合同な三角形はかける。 三つの辺の長さを使えばいいことがわかった。 二つの辺とその間の角の大きさを使う。 一つの辺の長さとその両はしの角の大きさをを使えばいい。 | <ul style="list-style-type: none"> 机間指導し、ねらいとする答えの書いている児童を意図的指名する。 ◎書けない児童は、まとめの言葉を参考にするよう促す。 <p>【自己決定 C6 個に応じた指導】</p> <div data-bbox="837 1373 1161 1518" data-label="Image"> </div> <p>自分の考えを書いている様子</p> <p>【自己決定 C11 振り返り】</p> <div data-bbox="539 1664 1396 1798" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇合同な三角形をかくとき、構成要素の中で三つの条件が必要なことを理解している。(ノート・観察)【知識、理解】</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 黒板に書かれたまとめを見て書いている児童もおり、振り返りで自分の考えを書けるようになった児童が増えた。 |
| <p>・次時は、合同な平行四辺形をかくことを告げる。</p> | | |

| |
|--|
| <p>児童の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネームカードを貼るとき、自分の考えをはっきりさせることができた。 ・合同な三角形がかけた。 ・ペア・グループ学習で自分のやり方を説明することができた。 ・振り返りで、自分の考えが書けた。 |
|--|


算数科学習指導案（6年）

| | | | | |
|----------------------|--|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 対 象 | 研究協力校 小学校第6 学年 | | | |
| 実施期間 | 平成26年6月下旬～7月上旬 9時間 | | 授業者 | 〇〇 〇〇 |
| 単 元 名 | 比と比の値 割合の表し方を考えよう (算数6 東京書籍) | | | |
| 単元の目標 | 比の意味を理解し、それを用いて二量の割合を表すことができる。また、比の値や等しい比について知り、比を簡単にすることや比を使った問題を解くことができるようにする。 | | | |
| 評価 規 準 | 関 | 比に関心を持つとともに、比のよさがわかり、それを用いようとする。 | | |
| | 考 | 比や比の値を用いて、問題を解決することができる。 | | |
| | 技 | 比を用いて表したり、等しい比を見つけ比を簡単にしたりすることができる。 | | |
| | 知 | 比の意味と表し方を理解する。 | | |
| 過程 | 時間 | 伸ばしたい資質・能力 | | 主な学習活動 |
| | | 生徒指導の三機能 を生かした主な手立て | 思考力・表現力、 活用させたい知識等 | |
| 課題 把握 課題 追究 | 1 構 | やる気を促す対応 | 比を使って割合を表すこと | 二つの数量の割合の表し方を考える。 |
| | 2 | ペア・グループ学習 | 比の意味 | |
| | 3 | 自分の考えを発表する | 等しい比の意味の理解 | 比の値を求めて、等しい比を見つける。 |
| | 4 | 一人学びの設定 | 等しい比の意味や等しい二つの比の性質を考える力 | 等しい比どうしの関係を調べる。 |
| | 5 | 多様な考えにふれさせる | 等しい比の理解 | |
| | | 個に応じた指導 | | 比の性質や比の値を用いて、比を簡単にする。 |
| ま と め | 6 | 自分の考えを発表する | 比の前項と後項、部分と全 | 小数や分数で表された比を簡単な整数の比にする。 |
| | 7 | ペア・グループ学習 | 体の割合の関係の理解 | |
| | | 自分の考えを発表する | 比の一方の数量を求める力 | 比の性質や図を用いて、比の一方の値を求める。 |
| | 8 | 一人学びの設定 | 全体の量を比例配分する力 | 「ちからをつける問題」 |
| | 9 | 自分の考えを発表する | 基本的な学習内容の理解 | 全体を部分と部分の比で分ける方法を考える。 |
| | | 一人学びの設定 | | 「しあげの問題」 |
| | | 振り返り | | 単元テスト |


| 本時の展開（1／9） | | |
|--|---|--|
| ねらい | 同じ味のソースを作る場面において、二量の割合に着目すればよいことに気づき、比で表すことに関心を持つ。 | |
| 準 備 | めんつゆ・乳酸飲料の瓶 | |
| 学習活動（時間） 予想される児童の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 |
| 1 日常生活の中で使っている割合について話し合い、興味・関心を持つ。（10分） | <p>既習事項を想起させる場面</p>  <p>あーあ、今日も算数やるのか…</p> <p>割合って、何だったっけ？</p> <p>比べる量 百分率</p> <p>比べる量をもとでわったときにでる数</p> <p>いいですね</p> <p>割合、例えば、〇〇さんがやっている野球で考えますよ。10回打席に入って、3回ヒットを打ったら？</p> <p>3割</p> <p>そうでしたね</p> <p>野球の話でちょっとやる気がでてきた</p> | <p>自分の経験を全体の前で話す児童が多く、興味関心を持つことができた。</p> <p>実物や写真を見ることで、児童は自分の経験を想起することができた。</p> |
| 2 p 60の写真をもとに話し合う。（5分） ・めんつゆ作るとき説明書に1:1とか書いてあったな ・ラベルに何対何、表みたいのがある | <p>・めんつゆ、乳酸飲料の実物や写真を見せることで、身の回りにある割合について想起できるようにする。</p> <p>◎友達の経験を聞かせることで、割合が想起できるようにする。</p> <p>・「何と何」を意識させることで、二量の関係を比較できるようにする。</p> | |




つゆで考えてみるよ。
5年生の割合のときとの違いは、何ですか。




なんだろう。分からないな。




何が分かっていて、何が分かっていない？




つゆのもとと水は、分かっている



ということは、全体が分からないのか



そうですね。めんつゆって、つゆのもとと水が混ざっているのですね。だから、全体が分かりません。今度は全体が書いていないから、自分で全体を考えます。



なるほど、そういうことなのね！

【自己存在感 A9 発問の工夫】

3 本時の学習課題をつかみ、追求の見通しをもつ。(10分)

- ・ p 61の写真を見ることで、「ただし」が一人分、「みか」が二人分、「けん」が三人分作っていることを確認する。

【課題】 三人が使ったウスターソースとケチャップの量の割合を調べよう。

- ・ 「もと」は小さじ1かな
- ・ 「もと」は何だろう
- ・ 「もと」はウスターソースかな

- ・ p 61の図を基に、「みか」や「けん」がウスターソースの量で何を1とみているか、捉えさせる。
- ・ 三人とも同じ味にすることを強調することで、同じ比の表し方になる見通しを持たせる。

- ・ 教科書の図からどれが「もと」なのか、よく考えている姿が見られた。

4 個別に課題を追究する。(15分)

- ・ ただし：ウが小さじ 2、ケが小さじ3だから2と3の割合
- ・ みか：4と6の割合
小さじ2を1とみて、2と3の割合
- ・ けん：6と9の割合
小さじ3を1とみて、2と3の割合
- ・ 線分図でかく、分数で表す

- ・ 図の点線の囲みから、一人分が小さじ1杯を1、二人分が小さじ杯2を1、三人分が小さじ3杯を1とみていることに気付くようにする。
- ◎ 「みか」の場合、図から小さじ2杯を1とみることから、一人分の2倍を混ぜていることに気付くようにする。
- ・ 図を手がかりに、1とみる量が小さじ1杯、小さじ2杯、小さじ3杯と変わること、どの場合も2と3の割合といえ、二量の関係は変わらないことに気付けるようにする。
- ・ 次時は、自分の考えを基にグループで話合うことを告げる。

- ・ 教科書の図を見て、ソースを2と見たとき、ケチャップが3と理解していた。
- ・ 「同じ味にする」ということが児童の思考の一助となっていた。この言葉を手がかりに「もと」を意識することができた。

◇同じ味のソースを作る場面において、図を基に二量の割合に着目すればよいことに気づき、比で表そうとしている。

(ノート・観察)【関心・意欲・態度】

- 児童の感想
- ・ 前は、割合で百分率とか歩合とかやったけど、6年生になったら〇：〇っていう比の勉強をするんだということがわかった。
 - ・ 乳酸飲料とかめんつゆの瓶で見たことあるし、飲み物ををつくったことがある。どういことを勉強するのか楽しみ。
 - ・ 明日は、自分で考えたことをグループで話し合うんだな。

② 実践 2

国語科学習指導案（5 年）

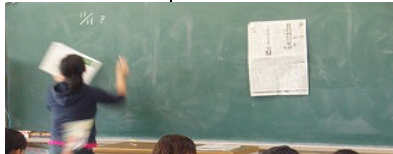






| | | | |
|---------------|--|------|-----------|
| 対 象 | 研究協力校 小学校第 5 学年 | | |
| 実施期間 | 平成26年11月10日～11月11日 | 2 時間 | 授業者 ○○ ○○ |
| 単 元 名 | 季節の言葉 秋の空（国語 5 光村図書） | | |
| 単元の目標 | 古文について内容の大体を知り、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができるようにする。 | | |
| 評価 規 準 | <p>関 季節の発見や感動などを俳句で表そうとしている。</p> <p>話 友達の俳句のよさを指摘し、アドバイスをすることができる。</p> <p>書 自分の発見や感動を意識し、語感や言葉の使い方に関心を持ち、俳句をつくることができる。</p> <p>言 先人や友だちのものの見方や感じ方、表現のうまさについて知る。</p> | | |
| 過程 時間 | 主な学習活動 | | |
| 把握 1 時 2 分 | 俳句から季節の言葉を感じ取る。（追究）新聞から秋らしい言葉を見つけ、俳句をつくる。 | | |

| 本時の展開（1 / 2） | | |
|---|--|--|
| ねらい | 俳句を知る場面で、季節の言葉を写真から感じたり、教師からの解説を聞いたりすることを通して、親しみやすい古文について内容の大体を知り、昔の人のものの見方や感じ方を知る。 | |
| 準 備 | 俳句のきまりを書いた画用紙 | |
| 学習活動（時間） 予想される児童の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 |
| 1 秋について話し合い、 興味・関心を持つ。（5 分） ・空が高い・日が短くなった | ・天気や植物等の変化を問いかけることで、秋らしい言葉を見つけられるようにする。 | ・教師の発問によく反応して答えていた。 |
| 2 本時のめあてをつかむ。 （3 分） | ・これまでに春、夏の俳句に取り組んできたことを想起させて、秋も同様に俳句をつくる見通しを持てるようにする。 | |
| <div> <div>【めあて】 俳句から季節の言葉を感じ取ろう。</div> </div> | | |
| 3 教科書の俳句を知る。 （18分） ○p126の写真を見て、 鰯雲を確認する。 ○教科書を読む。 ○季節を表す言葉を発表する。 ○俳句の説明を聞く。 ・昔の人は、空から季節を感じていたんだな ・昔は明かりが今みたいになくさんなかったから、明るい月を楽しんだのかな ・昔の人は周りの景色や身の回りのことから季節を感じ、楽しんでいたんだね ○俳句を三回ずつ読んで、覚える。 ・リズムよく読んでみたよ | <p>・鰯雲を見た経験を発表させたり、写真を見たりすることで、秋の様子や名前の由来が考えられるようにする。</p> <p>・教科書p126, 127に出てくる季節を表す言葉に線を引かせることで、自分の考えを明確にさせるとともに、発表の助けとする。</p> <p>◎「昔の人は何から秋を感じていたか」の視点を与えることで、季節の言葉を見つけられるようにする。</p> <p>・「弓張月」「十六夜」「後の月」等の説明をすることで、月について古来から季語として詩に使われ、人々が親しんできたことを押さえる。</p> | ・初めて聞く言葉がほとんどであったが、絵を描いて説明することで、イメージすることができ昔の人のものの見方や考え方を知ることができた。 |
| <div> <div> <div> <div>よそおうって何？</div> <div>山が着飾る</div> <div>山が着飾るってどういうこと？</div> <div>美しいことかな？</div> <div>なんで、山がうつくしく着飾るの？</div> <div>紅葉しているから</div> <div>正解です</div> </div> </div> </div> | | |
| <div> <div>【自己決定 C3 考えたり観たりする視点の提示】</div> <div>・「よそおう」「つるべ落とし」「身にしむ」「馬</div> </div> | | ・「よそおう」の言葉に反応して |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>肥ゆる」の説明をすることで、俳句の大体の内容がつかめるようにする。</p> | <p>活発なやりとりがあった。</p> |
| | <div>◇ 俳句を知る場面で、季節の言葉を写真から感じたり、教師からの解説を聞いたりすることを通して、親しみやすい古文について内容の大体を知り、昔の人のものの見方や感じ方を理解している。 (ノート・発表)【言語についての知識・理解・技能】</div> | |
| <p>4 俳句をつくる。(10分)</p> <p>○俳句づくりの約束を確認する。 五・七・五 季節の言葉を入れる 字余り、字足らずでもよい</p> | <p>・語感や言葉の使い方に関心を持たせるため、教科書に出てきた季節の言葉の中から選んで俳句をつくるよう指示する。</p> <p>【自己決定 C5 一人学びの設定】</p> <p>◎思いつかない児童には、教科書の俳句を参考にするよう伝える。</p> <p>◎思いつかない児童に対して、俳句がつくれた児童の発表を聞かせ、ヒントとなるようにする。</p> <p>◎どの言葉にするか決まらない児童に対して、どの俳句に興味を持ったか聞いて、選んだ俳句に使われた季節の言葉を使ってつくるようにする。</p> <p>◎言葉の意味を確認させたり活用例を参考にさせたりするために、国語辞典等を使ってよいことを伝える。</p> <p>・俳句がつくれた児童には、他の季節の言葉で次の俳句に取り組むよう促す。</p> |  <p>五・七・五のリズムをとりながら俳句をつくっている様子</p> <p>・俳句がつくれた児童に読んでもらうことで、作れなかった児童は同様にできればよいことが分かり、自分で俳句をつくってみようとする姿が見られた。</p> |
| <p>5 振り返りをする。(5分)</p> <p>○秋を感じる言葉を確認する。</p> <p>・鰯雲、つるべ落とし、弓張月、空や山の様子等、身近なもの等から秋を感じていたんだな。</p> | <p>・「昔の人は何から秋を感じていたか」と問うことで、振り返りの焦点化を図る。</p> <p>【自己決定 C11 振り返り】</p> <p>・季節の言葉を発表させることで、昔の人たちも空や植物など身近なものから季節を感じ取っていたことを押さえる。</p> | <p>・振り返りの焦点化を図ることで昔の人や空や植物など身近なものから季節を感じていたことを、この学習を通して知ることができた。</p> |
| <p>6 次時の学習内容を知る。(4分)</p> <p>○天気に関する記事を新聞から探し、秋らしい言葉を見つけ、俳句をつくることを知る。</p> | <p>・天気のことが書かれている記事に限定し、言葉を見つけさせることで昔の人のものの見方や感じ方と比較しやすいようにする。</p> <p>・家庭で新聞をとっていない児童を確認することで、新聞をとっている児童に数日分持参させたり教師が用意したりすることを伝える。</p> | <p>・次時の予告をしたところ、興味を持ち、新聞から言葉を探し、俳句をつくりたいと意欲を見せる児童がいた。</p> |
| <p>児童の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句が一つつくれた。 ・友達の俳句を聞いて、「つくれるかも」と思った。 ・今日は、教科書に載っている季節の言葉から、「鰯雲」を使おうと思った。写真もあったし、本当の空で見たこともあったので、俳句が作りやすかった。 | | |

社会科学学習指導案（５年）

| | | | | |
|----------------|------|--|-----|-------|
| 対 象 | | 研究協力校 小学校第5学年 | | |
| 実施期間 | | 平成26年11月上旬～11月下旬 13時間 | 授業者 | 〇〇 〇〇 |
| 単 元 名 | | わたしたちのくらしと情報 （小単元名 情報は、どのように伝えられるの） （社会5 東京書籍） | | |
| 単元の目標 | | 放送、新聞などの産業と国民生活との関わり、情報化した社会の様子と国民生活との関わりを調べ、情報化の進展は、国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えることができるようにする。 | | |
| 評価 規 準 | 関 | 情報化の進展に関心を持ち、その利点や問題点について調べることで、様々な情報に対して適切に判断し、望ましい行動をしようとしている。 | | |
| | 思 | 情報の有用性や役割、適切な収集・活用、発信や伝達の仕方、情報化のもたらす様々な影響等をもとに、情報の活用について思考・判断したことを適切に表現することができる。 | | |
| | 技 | 生活や産業の中での情報活用について、資料やインターネットを活用して調べ、わかりやすくまとめることができる。 | | |
| | 知 | 情報化の進展によって人々の生活の向上が図られていることや情報を活用しながら生活する必要があること、情報の送り手として発信する情報に責任を持つ大切さについて理解する。 | | |
| 過程 | 時間 | 主な学習活動 | | |
| 把握 課題 追究 | 1 | 新聞を読み比べて記事の異同について話し合い、学習課題をつかむ。 | | |
| | 2 | 新聞記者がどのように情報を集め記事を書くか予想する。 | | |
| | 3 | 新聞が発行されるまでの新聞社で働く人々の工夫や努力を調べる。 | | |
| | 4 | 世界の出来事の記事ができるまでの工夫や努力を調べる。 | | |
| | 5 6 | インターネットの活用の仕方を話し合う。新聞以外の情報を得る方法を調べる。 | | |
| まとめ | 7 | 学習内容のまとめをする。 | | |
| | 8～13 | 情報はどのように活用するの（次の小単元のため略） | | |


| | | | |
|---|--|--|---------------------------|
| 本時の展開（2／13） | | | |
| ねらい | 新聞記者は、どのように取材し、記事を書いているか、自分の考えを持つ。 | | |
| 準備 | 資料集、児童が書いた自動車新聞、当日の新聞 | | |
| 学習活動（時間） | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 | |
| 予想される児童の反応 | | | |
| 1 新聞に興味・関心を持つ。（5分） ・一面に重要な出来事、内容が載っている | ・実物の新聞を提示することで日常生活を想起させ、新聞は情報を手に入れる手段の一つであることを押さえる。 [自己決定 C1 教材・教具の提示の工夫] ・一面の記事についてふれることで、新聞ができるまでの行程に興味を持たせるようにする。 |  | |
| 2 学習課題をつかむ（5分） | ・本時では、取材と記事までを学習することを伝え、学習の見通しを持たせる。 | ・新聞を提示することで、児童が興味を持って学習に取り組めた。 | |
| [課題] 新聞記者はどのようにして取材をするのだろうか。 | | | |
| 3 新聞記者がどのようにして情報を集めるのか話し合う。（15分） ○事件発生後の記者の行動を考える。 ・現場へ出かけるだろう。 ・取材する。 ・重要なことを聞く。 ・写真を撮る。 ○自分の考えをノートに書く。 | ・社会新聞をつくった経験を想起させることで、記事を書くには材料の収集が必要であることを捉えられるようにする。 ・新聞を読んだりテレビで見たりした経験から、情報の集め方について全体で話し合うことで、記者による取材の仕方の見通しを持たせる。 | | ・新聞づくりの経験を基に、活発な意見交流ができた。 |
| <div><div><p>取材をするときに、どのような工夫をしたりどんなことに気を付けたりしているでしょう。</p></div><div><p>自分の考えをノートに書きます。時間は2分（タイマーで計る）</p></div><div><p>2分経ちました。では、発表してください。</p></div><div><p>なるほど、みなさん、よく知っていますね。テレビでそういう場面見たことがあるのかな？</p></div><div><p>ある</p></div><div><p>ある</p></div></div> | | | |
| [自己決定 C2 発問の工夫] | | | |

| | | |
|---|---|--|
| <p>○記事にするとき、気を付けること、努力していることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手が知りたいと思うことを自分の目で確かめて記事にする。 ・多くの人から話を聞く。 ・正確に伝えられるように書く。 ・読み手に分かりやすい文章にする。 <p>・はっきり分かっていることだけ書く。</p> <p>・すぐに記事をつくるため。</p> <p>・すぐに新聞社に記事を送るため。</p> | <p>◎思いつかない児童には、「どこに行くか」「持ち物は」と具体的に問うことで考えられるよう促す。【自己決定 C6 個に応じた指導】</p> <p>◎パソコンやカメラを持ち歩いている理由を聞くことで、急な取材に備えていることに気付くことができるようにする。</p> <p>◎書けない児童には、間違った情報を与えてしまってもよい、書き手の予想で書いてしまってもよい、と自己決定できるような投げかけをして書けるように支援する。</p> <div data-bbox="539 544 1407 875"> <p>「実は犯人の名前が違っていました」っていうことがあったの？</p> <p>だめです。</p> <p>書いている人の予想で「あの人犯人かも」なんて書いていいの？</p> <p>だめです。</p> <p>そういうことをノートに書いてみて。</p> <p>正しく伝える。</p> <p>予想で書かない。</p> <p>いいね、書けましたね。</p> <p>やった、書けた。</p> </div> <p>【自己決定 C5 一人学びの設定】</p> <div data-bbox="523 981 1383 1142" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇新聞記者は、どのように取材して記事を書いているか、工夫していることや努力していることを書いている。</p> <p style="text-align: right;">(ノート・発表)【知識・理解】</p> </div> | <p>・思いつかない児童に具体的に問うことで、どの視点で考えればよいかかわかり、自分の考えをノートに書くことができた。</p> |
| <p>4 考えを発表し、比較・検討する。(10分)</p> <p>○隣同士、全体で発表する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・情報を主体的に活用することで暮らしが豊かになるとともに、誤った情報が社会や人々の生活に大きな影響を与えることを押さえる。 ・自分の考えを隣の人と発表し合うことで、自分の考えをはっきり決めて表現することができるようにする。 <p>【自己決定 C8 ペア・グループ学習】</p> | <p>・自分の考えを隣の人に発表することで、自分の考えを明確にすることができた。</p> |
| <p>5 振り返りをし、次時の予告をする。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場へ行って、正しい情報を聞き、伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導し、新聞記者の取材と記事までの仕事内容について書けている児童を意図的指名する。 ・命がけで取材をする人や東日本大震災で亡くなった記者の話をする中で、多くの人々に情報を伝えたいという情熱や使命感を伝えるようにする。 <p>【自己決定 C1 教材・教具の提示の工夫】</p> | <p>・児童は教師の話を真剣に聞いていた。記者がどんな思いで仕事をしているかということも含めて、しっかり考えることができた。</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>児童の感想</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・命がけで取材をしている記者がいたり、戦場の様子を取材に行って銃撃戦に巻き込まれて死んでしまったりする記者もいて、本当に一生懸命なんだと分かった。 ・みんなに正しい情報を伝えるため、自分の足で現場へ行って、様子を聞いたり、写真を撮ったりしているのは大変だと思った。 ・いつもパソコンやカメラを持っていつでも取材できるように準備していてすごいと思った。 |
|--------------|---|

理科学習指導案（５年）

| | | | |
|--------------|--|---|-------|
| 対 象 | 研究協力校 小学校第５学年 | | |
| 実施期間 | 平成26年11月上旬～11月中旬 | 授業者 | 〇〇 〇〇 |
| 単 元 名 | 電流が生み出す力（理科５ 東京書籍） | | |
| 単元の目標 | 電磁石の強さの変化について関心・意欲を持って追究する活動を通して、電流の働きについて条件を制御して調べる能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、電流の働きについての見方や考え方を持つことができるようにする。 | | |
| 評価 規 準 | 関 思 技 知 | 電磁石の働きに興味・関心を持ち、電磁石の働きに興味を持つ。 電磁石の働きを大きくする方法について、予想や仮説を持ち、電流の強さや導線の巻き数に着目して、自分の言葉で表現することができる。 磁石の働きの大きさを電流の強さやコイルの巻き数の条件に注意しながら調べ、結果を記録することができる。 電磁石の働きの大きさは、電流の強さや導線の巻き数によって変わることを理解する。 | |
| 過程 | 時間 | 主な学習活動 | |
| 課題 把握 | 1 2時 | 電磁石を知り、今後の学習の見通しを持つ。 自分の電磁石を作る。 | |
| 課題 追究 | 3 4 5 6 7 8 | 永久磁石のような性質が電磁石にもあるかどうか予想や仮説を立てる。 実験計画を立て、グループで話し合う。実験を行い、電磁石の性質や働きについて考察する。 電磁石の働きを大きくする方法について予想や仮説を立てる。 実験計画を立て、グループで話し合う。実験を行い、考察する。 | |
| まとめ | 9～11 | 電磁石を使ったゲームをする。学習内容のまとめをする。単元テスト | |

| 本時の展開（2／12） | | | |
|--|--|--|--|
| ねらい | 自分の電磁石を作り、電磁石の性質やはたらきに興味・関心を持つ。 | | |
| 準備 | 電磁石セット | | |
| 学習活動（時間） | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 | |
| 予想される児童の反応 | | | |
| 1 前時までの学習を振り返る。（5分） | ・ 前時の復習をし、「電磁石」について確認する。 | | |
| 2 学習のめあてを知り、学習の見通しを持つ。（10分） | ・ 本時は、次時からの問題解決をするための準備であることを伝える。 | | |
| 【めあて】 自分の電磁石を作り、電磁石に興味を持とう。 | | | |
| ○見本を見る。 ・ 自分の電磁石を作るんだな | ・ 見本を提示することで、 本時の作業の見通しを持たせ、主体的に学習を進めることができるようにする。 | <div>今日は、50回巻きコイルを使って、こんな電磁石を作ります。</div>  | |
| ○電磁石の作り方の手順を知る。 ・ 今日やることが分かったよ ・ 早く作りたいな | ①コイルの巻き方、回数の確認 ②エナメル線の両端のエナメルを紙やすりで削る ③導線の端に配線プラグを取り付ける ④電池ボックス内での乾電池の向きや回路の確認をする | 【自己決定 01 教材・教具の提示の工夫】 ・ 具体物を提示されたり、本時の学習の流れを説明されたので、児童は自分の電磁石を作ればよいことが分かった。 | |
| 3 自分の電磁石を作る。（20分） | ◎エナメル線が絡まらないようにするため、輪を作って巻き、テープで留めておくよう告げ | ・ きれいに巻こうとする姿が見ら | |

| | | |
|--|--|---|
| <p>○エナメル線を同じ向きに50回巻いてコイルを作る。</p>  | <p>る。絡まって直線に戻せない場合に備えて、エナメル線を余分に用意しておく。</p> <p>プラグにつなぐための長さを5cmくらいとっておくって先生が言っていたな。その長さをとっておいて、はじからきれいに巻いていこう。</p> | <p>れ、集中して作業することができた。</p> |
| <p>○エナメル線の両端の膜を削る。</p> <p>・結構、力があるな</p> | <p>・配線プラグに巻き付けるので、エナメル線の膜を5cmくらい削るよう告げる。</p> <p>◎きちんと削れていないと電流が流れないので、きれいに削れているかどうか机間指導しながら確認する。</p> <p>【自己決定 C6 個に応じた指導】</p> <p>エナメルのまくが残っていると、電流が流れませんよ。しっかり削ってください。</p>  | <p>・児童は膜を削る経験が少なかったためか、きれいに削ることがなかなかできなかった。しかし、この作業を教師が巡回しながら演示することで、膜を削るコツをつかみ、削ることができた。</p> |
| <p>○エナメル線の両端にプラグを付ける。</p> <p>○自分で作った電磁石に電流を流す。</p> <p>・釘がくっついた</p>  <p>電磁石に電流を流して釘がつくかどうか確かめている様子</p> | <p>やすりでエナメル線のまくを削っている様子</p> <p>・乾電池スイッチセットに差し込む準備として、プラグに巻き付けるエナメル線の膜がきれいに削れているか、もう一度確認する。</p> <p>◎電流が流れない児童に対して、エナメル線がよく削れていないこと、電流の流れる道が違っていることなど、点検するように助言する。</p> <p>◎電流が流れない児童に対して、電流を流すことができた児童に支援を求めるよう促す。</p> <p>・机間指導し、電流が流れている児童には電流が流れたことについて賞賛し、電流が流れない児童には、エナメル線の削れ具合や電流の流れる道を再確認する。</p> <p>【自己決定 C6 個に応じた指導】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◇自分の電磁石を作り、電磁石の性質やはたらきに興味・関心を持っている。</p> <p>(ワークシート・発表)【関心・意欲・態度】</p> </div> | <p>・自分の電磁石に電流を流すと、「釘がついた」「電流が流れた」と大きな歓声をあげ、自分の完成した電磁石に喜びを感じていた。</p> |
| <p>4 振り返りをし、次時の予告をする。(10分)</p> | <p>・次時は、強い電磁石を作るにはどうしたらよいか話し合うことを知る。</p> | |

| | |
|--------------|--|
| <p>児童の感想</p> | <p>・自分の電磁石を作ることができた。</p> <p>・電磁石に電流を流したら、本当に釘がついた。</p> <p>・今日は、50回巻きコイルで電磁石を作ってみたけど、たくさん巻いたコイルで電磁石を作ると、「どうなるんだろう」と思った。</p> |
|--------------|--|

音楽科学習指導案（6年）

| | | | |
|--------------|--|---|-----------|
| 対 象 | 研究協力校 小学校第6学年 | | |
| 実施期間 | 平成26年11月上旬～11月中旬 | 5時間 | 授業者 ○○ ○○ |
| 題 材 名 | 曲想を感じ取ろう（音楽6 教育芸術社） | | |
| 単元の目標 | 楽曲の構成を理解して聴き、曲想の変化を感じ取って聴くことができるようにする。曲想の変化や楽器の音色を感じ取りながら、表現を工夫できるようにする。 | | |
| 評価 規 準 | 関 創 技 鑑 | 曲想の変化に関心を持ち、進んで聴いたり演奏したりしようとしている。 楽曲全体の構成に注目し、表現のよさや工夫を感じ取ったり、それらを生かして表現の仕方を工夫したりすることができる。 音楽を特徴付けている要素を生かして、きれいな音色で演奏することができる。 主な旋律の変化や対照、楽曲全体の構成や音楽を特徴付けている要素を気を付けて聴き、曲想全体を味わって聴く。 | |
| 過程 把握 | 時間 1. 2. | 主な学習活動 | |
| 追究 | 3. 4. | 楽器を選んで、自分の好きなパートを演奏する。グループごとに練習する。 | |
| まとめ | 5 | 工夫した合奏を発表し、聴き合う。 | |


| 本時の展開（1／5） | | |
|---|--|--|
| ねらい | アとイの曲の雰囲気と比較する場面で、音楽を特徴付けている要素について比較し、曲想の変化を感じ取って聴く。 | |
| 準 備 | 曲想を表す言葉、曲の構成図、ワークシート | |
| 学習活動（時間） 予想される児童の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 |
| 1 発声練習をする。 （5分） ○音階練習をする。 ○「ふるさと」を歌う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと発声にするために、おなかから息をしっかりと出す、肩幅に足を広げること、口をしっかりと開けるよう促す。 ・口形に気を付けて歌えている児童を賞賛する。 ・自分のパートの音をとりにやすくするために、上のパート（右側）と下のパート（左側）に分かれるよう指示する。 ・響き合いを大切にするために、自分の旋律と他の旋律とを聴きながら歌うよう助言する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・気を付けることを意識しながら練習していた。 ・自分だけの歌声にならないように、響き合いを感じながら歌える児童がいた。 |
| 2 学習課題をつかむ。 （3分） | <ul style="list-style-type: none"> ・曲全体の雰囲気をつかませるため、1回通して曲を聴かせる。 | |
| <div> <div> [めあて] 曲の変化を感じ取ってきこう。 </div> </div> | | |
| ○「木星」（管弦楽曲「惑星」）の全曲を聴くことを知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲の拍子を感じ取らせるため、指揮をしたり体でリズムをとったりしてもよいことを告げる。 | |
| 3 「木星」の曲を鑑賞する。（8分） ○曲の構成をつかむ。 ・アは主なふしが①②③の三つあり、イの聴き慣れた部分は④なんだな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成をつかむため、全曲を聴く中から曲の雰囲気が変わったと感じられたところで手を挙げさせて、全体で確認する。 ・曲の構成図を黒板に掲示することで、曲の構成が大きく分けて三つの部分から成り立っていることが捉えやすくなるようにする。また、掲示した構成図に矢印を示すことで、どの部分を演奏しているか捉えられるようにする。 <p>[自己決定 C1 資料・教材の提示の工夫]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・構成図や矢印を提示することで、曲のどこを演奏しているか視覚的に捉えることができ、全体の構成がつかみやすくなった。 |
| 4 主になる旋律を知る。（9分） ○アの旋律の特徴を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主な旋律の動き、曲の速さ、強弱、リズム、拍子などの曲を特徴付けている要素や楽器の音色などを全員で確認、曲の特徴をつかめるようにする。 | |

| | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・曲の感じをつかむんだな <p>○アを聴き、感じたことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムがいいな ・元気がいい ・三拍子でやや速い | <ul style="list-style-type: none"> ①はシンコペーションのリズム、速さ ②はリズムカル、強弱 ③は三拍子のリズム、楽器の移り変わり <ul style="list-style-type: none"> ・アの曲の特徴を捉えるため、ア全体を感じ取って聴かせるようにする。 ・アを聴くにあたり、リズム、速さ、強弱、曲の感じといった観点を示したワークシートを用意する。[自己決定 C5 一人学びの設定] <div data-bbox="507 521 1133 701"> <p>どんな曲だと思ったか、ここにある言葉を参考に書いてください。</p>  </div> <p>曲の感じを書かせるときに参考として掲示した言葉</p> <p>[自己決定 C1 資料・教材の提示の工夫]</p> <p>◎曲から感じる言葉を参考として掲示することで、何を書いたらよいか悩んでいる児童への支援とする。[自己決定 C5 一人学びの設定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書けない児童を中心に、机間指導しながら声かけをする。[自己決定 C6 個に応じた指導] | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに観点が示されていたので、児童が何を考えたらよいか明確になった。 ・参考となる言葉が提示されたことで、どう書いたらよいか悩んでいる児童への一助となり、それらを見ながらワークシートに書いている姿が見られた。 |
| <p>5 イの部分聴き、曲の感じをつかむ。 (5分)</p> <p>○イを聴き、感じたことをワークシートに書く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・主な旋律の動き、速さ、強弱、曲の感じ、拍子などの楽曲を特徴付けている要素や楽器の音色など、アで聴いたことを生かして、ワークシートに書きながら聴くよう指示する。 <p>[自己決定 C5 一人学びの設定]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・アの取組と同様に行えばよいことが分かり、ワークシートのアを見ながら書く姿が見られた。 |
| <p>6 学習したふしの特徴を確かめながら全曲を聴く。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初と最後が同じなんだな | <ul style="list-style-type: none"> ・比較したことを想起しながら、全体で確認し、曲全体の構成を押さえる。 ・アとイで学習したふしの特徴を振り返らせ、ふしの特徴を確かめながら、曲全体を聴かせる。 ・曲の展開を板書の構成図を見ながら全員で確かめ、曲の全体の構成について押さえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成図が掲示されていたことから、常に構成を意識して聴くことができた。 |
| <p>7 振り返りをする。 (5分)</p> <p>○次時は「木星」以外の曲を聴くことを知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・曲の変化についての感想がよく書けている児童を意図的指名し、本時の学習を振り返る。 ・「木星」以外の惑星についても知らせ、その中から聴くことを知らせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「木星」以外の惑星にも曲があることに興味を持っていた。 |

| | |
|-------|---|
| 児童の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・題名を聞いたときは、どういう曲か分からなかったけど、聴いてみたら、前に聴いたことのある曲だったので、リズムに乗れて楽しかった。 ・どんな曲かを書くときに、黒板に参考にしていい言葉が貼ってあったので、その言葉を使って書くことができた。 ・「惑星」の曲の中の一つなので、他の惑星の曲がどういうものか知りたい。 |
|-------|---|

図工科学習指導案（5年）

| | | | |
|--------------|-------------------------------------|---|-----------|
| 対 象 | 研究協力校 小学校第5学年 | | |
| 実施期間 | 平成26年11月上旬～11月中旬 | 2時間 | 授業者 ○○ ○○ |
| 単 元 名 | 葉っぱの美、発見（図工5 開隆堂出版） | | |
| 単元の目標 | 自然の場所や環境、材料の特徴を考えながら、楽しく活動できるようにする。 | | |
| 評価 規 準 | 関 見 技 鑑 | 葉の形や色の美しさ、面白さに関心を持っている。 葉の形や色などの特徴から思いを広げ、表し方や画面構成の構想を練ることができる。 表したいものの感じがよく現れるように、絵の具や他の描画材料の扱いを工夫することができる。 互いの作品を見合い、ものの見方や感じ方、表し方のよさを感じ取っている。 | |
| 過程 | 時間 | 主な学習活動 | |
| 把握 | 1時 | 葉っぱを集めて表現の構想を練り、表し方を工夫して絵に表す。 | |
| 追究 | 2時 | 絵を完成させ、友達の作品のよいところを伝え合う。 | |


| 本時の展開（1、2／2） | | | |
|--|--|--|--|
| ねらい | 1枚の葉をじっくり見たり、またそれらを自由に組み合わせたりしながら、その形や色の特徴をとらえ、これをもとに表してみたい自分のイメージを表現する。 | | |
| 準備 | 見本となる作品 絵の具セット、画用紙 | | |
| 学習活動（時間） 予想される児童の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | | 児童の姿 |
| 1 学習のめあてをつかむ。（5分） | | | |
| <div>【めあて】 美しい葉やおもしろい葉を絵に表そう。</div> | | | |
| 2 校庭で気に入った葉を集める。（15分） ・虫食いの葉を選ぼうかな ・オレンジや黄色がかった葉を選ぼうかな | ・整っている形よりも虫くいの葉や、色に変化のある葉を選ぶことで、葉の美しさや面白さに関心を持たせるようにする。 ・ 選んだ葉について理由を聞くことで、形や色に着目できていることをほめる。 【自己存在感 A5 認めてほめる】 ・教室に持ち帰った葉は、教室の環境に配慮して新聞紙にはさむようにする。 | | ・色に変化のある葉を多くの児童が見つけた。葉の美しさに関心を持って探せた。ほめられて、「早く描きたい」と言う児童もいた。 |
| 3 葉の形や色などの特徴から想像を広げて、表してみたい絵の構想を練る。（15分） | ・ 集めてきた葉について隣同士で見せ合い、認め合うことで、その美しさや面白さに気付かせるようにする。 【自己存在感 A12 ペア・グループ学習】 ・画用紙には俳句も書くので、そのスペースを空けておくよう指示する。 | | ・選んだ葉について互いにほめ合う姿が見られ、絵を描く意欲が高まった。 |
| 4 葉の特徴から想像を広げ、材料の選択や表し方を工夫して絵に表す。（40分） ○葉の輪郭をスケッチする。 ・ギザギザが現れるようによく見て描こう | ・葉の輪郭や葉脈を意識させるため、ゆっくり描かせるようにする。また、葉の形がはっきりするように、一回の線で描かせるようにする。 ・ 児童の学習意欲を高めるように、机間指導して個々の取組を認め励ます。 【自己存在感 A10 机間指導】 <div><div>集中して絵を描いているよ</div></div> | | ・どの児童も葉を描くのに、無言で集中して取り組む姿が見られた。机間指導しながら、「ここがいいね」と言われることで、さらにやる気を出し、活動を進めていた。 |



| | | |
|---|--|--|
| <p>○ きれいな色の変化を絵の具で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶色やオレンジが作れるといいな ・ 1枚の葉を1色で塗らないようによく見て塗ろう | <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵の具は赤青黄の三色のみを混ぜ合わせることで、葉の色を表現させるようにする。その際、茶色やオレンジの作り方を全体で確認しておくことで、それらの色に近い色が作れるようにする。 ・ 授業中パレットを洗いに行かないようにするために、パレットの使い方を確認しておく。 [共感的人間関係 B5 学習の規律] <div data-bbox="515 506 722 696">  </div> <div data-bbox="722 506 1161 745"> <p>絵の具の出す量をようじの先くらいにします。色を作る大きさを100円玉くらいにします。</p> </div> <p>◎ 葉のスケッチが描けない児童に対して、葉のぎざぎざしている様子や葉脈の様子を中心に観察して描くよう個別に支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紅葉を表す色づくりの真剣な取組をほめることで、作品の仕上げに意欲がわくようにする。 <div data-bbox="515 1003 770 1205">  </div> <div data-bbox="770 1003 1161 1216"> <p>いい色が作れたね。この部分は葉脈だから、やや濃い茶色でいいかもね。いい葉ができそうだね。</p> </div> <p>[自己存在感 A5 認めてほめる]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初、緑やオレンジの作り方を聞かれると、多くの児童が容易に答えていた。 ・ パレットの使い方を確認していたため、パレットを広範囲に汚すことなく、塗りたい量を考えて出していた。 ・ 机間指導しながら、色の作り具合や塗り方をほめたり励ましたりすることで、児童は集中して作品に取り組む姿が見られた。 |
| <p>5 友達の表し方のよさに気づき、感じたことを伝え合う。 (10分)</p> | <div data-bbox="515 1312 783 1514">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣同士の交流後、別の人と意見交流することで、より多くの人からほめられたり認められたりする機会を設定し、達成感や成就感を味わわせるようにする。 <p>[自己存在感 A12 ペア・グループ学習]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 葉の形や色など、友達の作品のよいところを見つけてほめる姿が見られた。 ・ 級友から作品をほめられることで、喜んだり色の作り方を説明したりする姿が見られた。 |
| <p>6 後片付けをする。 (5分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺のクラスの迷惑にならないように、黙って片付けるように指示をする。 | |

| | |
|--------------|---|
| <p>児童の感想</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかった。 ・ 先生に、「この色いいね」とほめられてうれしかった。 ・ 友達に、「虫食いの葉っぱ見つけられたんだね。よく見つけられたね」と言われてうれしかった。 ・ 作品が上手にできた。 |
|--------------|---|

家庭科学習指導案（5年）

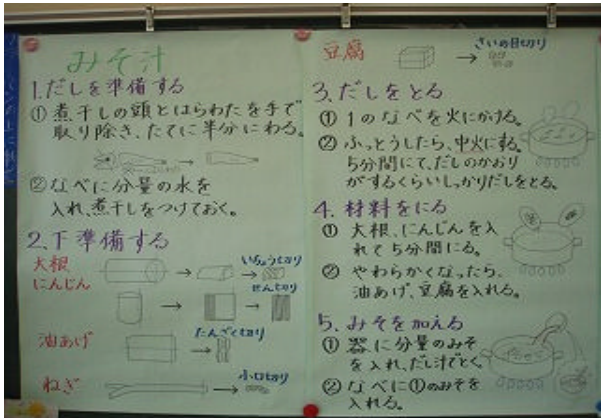
| | | | |
|-----------|--|--|----------------|
| 対 象 | 研究協力校 小学校第5学年 | | |
| 実施期間 | 平成26年11月上旬～11月中旬 10時間 | 授業者 | 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 |
| 単 元 名 | 作っておいしく食べよう (家庭5 東京書籍) | | |
| 単元の目標 | 日常の食生活に関心を持ち、ごはんのみそ汁について基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるとともに、食品を組み合わせてとることが大切であることを知り、日常生活で実践することができるようにする。 | | |
| 評価 規 準 | 関 | 日本の伝統的な食事のごはんのみそ汁に関心を持ち、その調理を通して身に付けた知識や技能を生かして、家庭で実践しようとしている。 | |
| | 創 | おいしいごはんのみそ汁の作り方を考えたり、自分なりに工夫したりすることができる。 | |
| | 技 | 調理器具を安全に使い、計画に沿ってごはんのみそ汁を作ることができる。 | |
| | 知 | 食品の栄養的な特徴や体内での主なはたらきが分かり、食事をバランスよくとることを理解する。 | |
| 過程 | 時間 | 主な学習活動 | |
| 把握 | 1時2分 | おいしいごはんの炊き方を知る。グループの友達と協力してごはんを炊く。 | |
| 課題 | 3 4 | おいしいみそ汁の作り方を知る。グループの友達と協力してみそ汁を作る。 | |
| 追究 | 5 6 7 | ごはんのみそ汁が同時にでき上がる調理実習の計画を立てる。グループの友達と協力してごはんのみそ汁を作る。 | |
| まとめ | 8 9 10 | 家族が喜ぶみそ汁を作る計画を立てる。 食品のグループ分けをする。食品に含まれるいろいろな成分の体内でのはたらきを知る。 | |

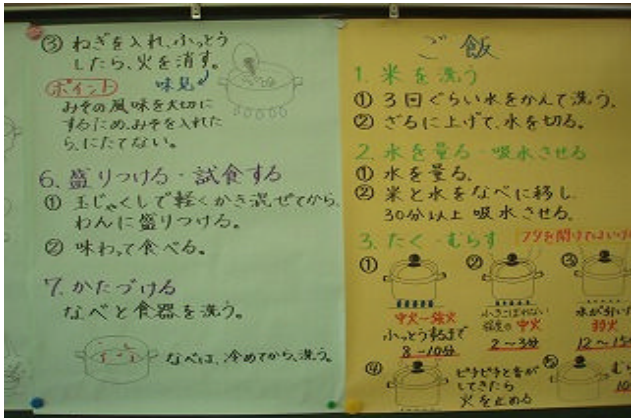
| | | |
|--|---|--|
| 本時の展開（6、7／8） | | |
| ねらい | 安全に気を付けて、班で協力することを通して、ごはんのみそ汁をおいしく作る。 | |
| 準 備 | ごはんのみそ汁の手順の書かれた模造紙、ガラス鍋、金物鍋、ざる、ボール、計量カップ、お玉、しゃもじ、菜箸、包丁、まな板、茶碗、お椀、皿、角バット、大根、人参、長ネギ、油あげ、豆腐、煮干し、米、みそ | |
| 学習活動（時間） 予想される児童の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 |
| 1 調理実習の準備、身支度をする。（10分） ○手洗い、身支度、材料、用具の準備をする。 | ・時間内に実習ができるよう、支度や手洗い等、 ・包丁の扱い方や使い方、ガスコンロの使い方を再確認することで、安全に気を付けさせる。 | ・調理室に入ると自ら進んで支度をする姿が見られた。 |
| 2 本時の学習のめあてを確認する。（10分） | ・全員身支度が整ったら、黒板の前に集合させて、ごはんのみそ汁の作り方について確認する。 | |
| 【めあて】 おいしいごはんのみそ汁を作ろう。 | | |
|  <p>猫の手で、人参は1回切ってからまな板に乗せると安定するので、くるくる回らないで切れるんだな。</p> <p>【自己決定 C4 指示・説明 モデルの実演】 ○ごはんの炊き方、みそ汁の作り方を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ごはんがおいしく炊けるように、火力調節と加熱時間、蒸らし方について手順の書かれた板書を見ながら確認する。 ・みそ汁でいだしができるように、煮干しの頭とはらわたを取り、体を割って10分水に浸してから火にかける方法を確認する。 ・多様な切り方を習得させるため、大根は銀杏切り、人参は千切り、油揚げは短冊切り、長ネギは小口切り、豆腐はさいの目切りといった野菜の切り方について、栄養教諭の実演を見ることが確認する。 ・みそは溶けにくいことから、だし汁を使って溶かしてから加えるよう話す。また、みその風味を逃さないようにするため、沸騰させすぎないように伝える。 ・安全面や衛生面から、調理台の上や用具を片付けながら作業を進めるよう促す。台の上を片付けるため、新聞紙で作った箱を用意する。 <p>【自己決定 C1 教材・教具の提示の工夫】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭が説明しながら煮干しの頭や内臓のとり方を見せると、初めて見たといった感じで興味を持って見ている。 ・野菜の切り方を実演することによって、「こんなふうに切ればいいんだ」、「それぞれの野菜を切る厚さが分かった」とイメージを持つことができた。 |
| 3 調理実習をする。（30分） | ・各班の進度を見ながら、遅れているようであれば協力して作業するよう声かけをする。 | ・栄養教諭の実演で、煮干しの処 |

| | | |
|---|--|--|
| <p>○みそ汁のだしをとる。 水を量った後、だしをとる。</p> <p>○ごはんのみそ汁を同時進行で調理する。 ごはんを炊く。</p> <p>強火 沸騰後2、3分継続 弱火12分から15分 音がしたら、火を止める 蒸らす10分 みそ汁を作る。 材料を洗う 材料を切る</p> | <p>・包丁が正しく持てたりテーブルの整理・整頓を心掛けていたりしている児童をほめる。</p> <p>・ガラス鍋の中がどのように変化しているか、音を聞いたり香りをかいだりして観察するように促す。</p>  <p>かたい材料から入れる よ.最初は人参と大根ね。</p> | <p>理の仕方や野菜の切り方が児童に理解され、実習がスムーズに進んだ。</p> <p>・教師に質問する姿もなく、各班で主体的に実習に取り組めた。</p> |
|  <p>沸騰して5分経った鍋に材料を入れる 大根、人参5分 油揚げ、豆腐、長ネギ みそを入れる</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>◇調理計画に沿って、ごはんのみそ汁の調理を行っている。 (行動観察・家庭科ノート)【生活の技能】</p> </div> | |
| <p>4 盛りつけ、試食をする。(15分)</p> | <p>・ごはんを炊くとき、各段階の所要時間が大切になってくるので、スタートは全班一斉にし、その後各班で計時するよう指示する。</p> <p>◎各班で仕事を分担しているか、協力しているかどうか、巡回しながら確認する。</p> <p>・片付けが能率よく行えるように、ガラス鍋が空になったら、湯に浸しておく。 (使用後の茶碗も同様)</p> | <p>・ごはんもスタートを全班一斉にしますので、時計を見る係を決めて観察したり、隣の班の様子と比較したりしていた。</p> |
| <p>5 後片付け、実習の振り返りをする。(15分)</p> | <p>・時間が限られているので、班で協力して片付けるよう促す。</p> <p>・包丁を持って移動するときは、周りの人に気を付けるよう促す。</p> <p>・班で協力して実習できたか、おいしいごはんを炊くコツ、おいしいみそ汁を作るコツを意図的指名して発表させるようにする。</p> | <p>・煮干しのだしが出ていて、「おいしい」と言っていた。</p> |

板書計画

1 1 / 1 2 めあて ごはんのみそ汁をおいしく作ろう





| | |
|--------------|---|
| <p>児童の感想</p> | <p>・ごはんのみそ汁もおいしくできた。</p> <p>・班の人と協力して調理実習をすることができてよかった。</p> <p>・友達が「包丁の使い方がうまいね」とほめてくれて、うれしかった。</p> |
|--------------|---|

体育科学習指導案（5年）

| | | | | |
|--------------|-----|--|-----|-------|
| 対 象 | | 研究協力校 小学校第5学年 | | |
| 実施期間 | | 平成26年11月上旬～11月中旬 8時間 | 授業者 | 〇〇 〇〇 |
| 単 元 名 | | ティーボール（Eボール運動 ウェーブボール型） | | |
| 単元の目標 | | 運動に進んで取り組み、ルールを工夫したり自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりして、ボールを打つ攻撃や隊形をとった守備ができるようにする。 | | |
| 評価 規 準 | 関 | ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとする。また場や用具の安全に気を配りながら活動しようとする。 | | |
| | 思 | 自分のチームの特徴を生かしながら、相手チームに応じた作戦を立てることができる。 | | |
| | 技 | 簡易化されたゲームで、得点するための打撃や隊形をとった守備によってアウトをとることができる。 | | |
| 過程 | 時間 | 主な学習活動 | | |
| 把握 | 1 時 | ティーボールの行い方を知る。正しいボールの投げ方の練習をする。 | | |
| 追究 | 3 4 | 正しい捕給の仕方の練習、キャッチボールリレーをする。正しい打ち方でボールを打つ、キャッチボールの練習をする。 | | |
| | 5 6 | キャッチボール、ホームランゲーム、チームで必要な練習を行う。ティーボールをする。 | | |
| まとめ | 7 8 | キャッチボール、ホームランゲーム、チームで必要な練習を行う。ティーボール大会をする。 | | |

| 本時の展開（1／8） | | |
|--|---|-------------------------|
| ねらい | ボールを遠くまで投げる練習をする場面で、ロープウェイスローや紙鉄砲を使って、肘を高く上げたり、上から投げたりする。 | |
| 準 備 | ロープウェイスロー、新聞紙、お手玉 | |
| 学習活動（時間） 予想される児童の反応 | 指導上の留意点及び支援・評価（◎努力を要する児童生徒への支援、[] 三機能を生かした手立て、◇評価） | 児童の姿 |
| 1 準備体操をする。（5分） ○館内を五周走る。 | ・けが防止のため、筋や筋肉をよく伸ばすよう伝える。 | ・「早くゲームがしたい」といった声も聞かれた。 |
| 2 本単元の学習の進め方と本時の学習内容を知る。（3分） | ・「投・攻・守」の練習をすることで、ベースボール型ゲームを行うという見通しを持たせる。 | |
| 3 ソフトボールを遠くに投げるコツを確認する。（7分） ・45度に投げる。 ・上から投げる。 ・正面に対し、横向きの姿勢から投げ始める。 ・踏み出しのつま先は正面を向いている。 ・ステップを横向きでする。 ・体の重心をボールと一緒に動かす。 | <div data-bbox="523 1034 1391 1384"> <p>ソフトボールを遠くまで投げるコツを教えてください。</p> <p>45度で投げる。</p> <p>そうですね。ボールがね、斜めに飛ぶようにね。</p> <p>うん、うん。</p> <p>上から投げる。</p> <p>そうそう。</p> <p>肩を入れる。</p> <p>なるほどね。みんなに肩を入れたところやって見せてくれる？</p> <p>いいよ。</p> </div> <div data-bbox="502 1400 1173 2060"> <p>【自己決定 C3 考えたり観たりする視点の提示】</p> <p>親指、人差し指、中指の三本の指でもつよ。こんなふうに。</p> <p>◎投げ方がイメージできるように、教師や児童がモデルとなって実演する。</p> <p>肘をもう一方の手で支えて、手首のスナップをきかせます。</p> <p>【自己決定 C4 指示・説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールの持ち方、肘のあげ方、手首のスナップに視点をあてて、投げる練習をするよう促す。 ・肘を片方の手で固定しながらお手玉を投げることで、ソフトボールを遠くまで投げる感覚 </div> <div data-bbox="1189 1467 1436 1971"> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な視点を与えることで、児童が考えやすくなり、積極的に発表することができた。 ・野球チームに所属している児童をモデルにすることで、その児童が活躍でき、周りの児童も上手な投げ方をイメージすることができた。 </div> | |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>が身に付くようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人組になって、投げる側と取る側を交互に行うことで、互いに励まし合ったり、アドバイスを出し合ったりできるようにする。 | |
| 4 手首を返す練習をする。(5分) | <ul style="list-style-type: none"> ・肘を片方の手で固定しながらお手玉を投げることで、ソフトボールを遠くまで投げる感覚が身に付くようにする。 ・二人組になって、投げる側と取る側を交互に行うことで、互いに励まし合ったり、アドバイスを出し合ったりできるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童は、手首に意識を集中させ、投げることができた。 |
| 5 二つの活動を交互に行う。(15分) ○ロープウェイスロー、紙鉄砲をする。 ・前半 男子 ロープウェイスロー 女子 紙鉄砲 ・後半は反対  | <ul style="list-style-type: none"> ・遠くへ投げるコツとして次の五つをポイントとして助言する。 <ol style="list-style-type: none"> ①肘を高く上げること。 ②上から投げること。 ③相手に対して横向きの姿勢から投動作を始めること。 ④踏み込む足の先は、相手に向けること。 ⑤ステップは横向きで行う。 ・ロープウェイスロー（ロープ15m、ロール芯2本）のロール芯を一人が持ち、一人が別のロール芯を投げる。このとき、肘を高く上げたり上から投げたりする練習にするために、ロール芯を持っている人は、投げる人の肩の高さに合わせて持つよう指示する。 ・友達同士で投げ方のよいところをほめたり、改善点を助言したりして、互いに高め合えるよう促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロープウェイスローでは、順番を守り、ロープを持つ人と投げる人との協力しながら、練習することができた。「○○ちゃん上手だね」「あんなふうに投げればいいんだ」と言う児童もあり、友達のよいところをほめたり、真似しようとしたりする児童が見られた。 |
| 【自己決定 C1 資料・教材の提示の工夫】 研究協力校には、体育館に三つ設置してある。  | <p>横向きから投げる動作を始めるよ。次に、ステップを踏むよ。リズムよく投げるよ。最後に肘を高く上げて投げるよ。</p> |  |
| <p>よい音が出るようにするには、体を大きく動かすよ腕を思い切り大きく振るよ 手首を返すよ これがポイントかな</p> | 【自己決定 C3 考えたり観たりする視点の提示】 ◎机間指導し、五つのポイントができているか確認する。 ・紙鉄砲のよい音を出させる動作はどうしたらよいか投げかけ、ロープウェイスローを基本として同様の動作を行えばよいことを告げる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・紙鉄砲では、練習を重ねて手首が返せるようになり、快音を出せるようになった児童が大勢いた。 |
| | <p>◇ ボールを遠くまで投げる練習をする場面で、ロープウェイスローや紙鉄砲を使って、肘を高く上げたり、上から投げたりしている。 (観察)【技能】</p> | |
| 6 振り返りをする。(5分) ・ソフトボールを遠くまで投げるコツを意識してやってみたよ。 ・こんな感じかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動で、投動作に大きな改善が見られた児童を意図的指名する。 ・紙鉄砲は狭い場所で短時間に行うことが可能なので、家庭でも練習するよう促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「手首を返すように気を付けた」「家でもやってみよう」等聞かれ、意識の高まりが見られた。 |
| 7 後片付けをする。(5分) | <ul style="list-style-type: none"> ・次に使う人のことを考えて片付けるように促す。 | |

| | |
|-------|--|
| 児童の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな道具を使って練習したので、楽しかった。 ・上手な友達の投げるところを見て、やってみた。 ・投げるコツを思い出しながら練習したので、早くソフトボールを使って投げてみたい。 |
|-------|--|